

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 593 号	氏名	阿部 修平
学位審査委員	主 査	柳原克紀	
	副 査	松山俊文	
	副 査	永安 武	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、子宮頸部に発現しヒトパピローマウイルスの感染防御に働く defensin beta 4 遺伝子 (<i>DEFB4</i>) のコピー数多型と子宮頸癌との関連を検証するものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>子宮頸癌症例 204 例と健常女性 200 例を対象とした。コピー数多型を有する <i>DEFB4</i> を標的遺伝子とし、ヒトゲノム中に必ず 2 コピー存在するアルブミン遺伝子 (<i>ALB</i>) を基準の遺伝子として選択した。<i>DEFB4</i> と <i>ALB</i> に対して定量的 PCR を行い、<i>DEFB4</i> が 3 コピーかつ <i>ALB</i> が 2 コピー存在するゲノム DNA をもとに <i>DEFB4</i> が 2、3、4、5、6、7 および 8 コピーのものを同定して検量線を作成した。これを用いて、<i>DEFB4</i> コピー数を測定しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>以上の解析の結果、コントロール群と比べ、子宮頸癌群において <i>DEFB4</i> コピー数が有意に少なかった。これは、<i>DEFB4</i> の減少が、ヒトパピローマウイルスに対する防御作用の低下につながることを示唆した。</p> <p>以上のように本論文は子宮頸癌の発症や予防の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			